

[第 130 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

令和 4年 9月

NPO法人高島藤樹会



- 日 時 令和 4年 10月 1日(土) 15時～17 時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 中江藤樹著・加藤盛一校註『鑑草』(岩波書店)p.163～(用意します)
塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)
- 懇親会 17 時 30 分～ 会場 ウエストレークホテル可以登楼(JR 安曇川駅前)
参加費 4,000 円★参加いただける方は、9/27 までに田中までご連絡ください。



本塾は藤樹先生の教えを学び、人間いかに生きるべきかを共に考える形で進めています。

9月17日(土)、安曇川公民館で第129回藤樹人間学塾を開きました。7名の参加でした。

■ テキスト

中江藤樹著『鑑草』の第三巻 序、第1話、第2話

■ あらすじ

序「不嫉はねたますと読む。嫉妬の心や行いがないと3つの得がある。夫が他の女と情を交わすとき、不嫉の本心が明らかであればきっと夫は妻の賢徳を感じ取り、自分の非を悔やんで淫乱を止めるものである。…これと反対に妬毒の蛇心がはなはだしいときは、夫はその妬毒を見て嫌になりついに離別するなど3つの損がある。…」第1話(不嫉の女性の話)、第2話(妬毒の女性の話)

■ 配布資料

- (1)「まなざし448号」、(2)「秀吉の妻、ねね」、
- (3)致知2021.4「稲盛和夫に学ぶ人間学」

■ フリートーキング

- ・ 田中「今日の話は、昔の中国の話であり、時代背景を差引いて考えてみたい。嫉妬するのは自己中心的で、嫉妬を超越するのは利他的心があるとも考えられる。そこで、利他を実践された稲盛和夫氏の言葉を紹介したい。その上で皆さんの意見を聞かせてほしい」
 - ・ 「私なら夫が浮気をしたらその理由を話し合っ原因を掴み、対処する。第2話で、相手の女性を殺してしまったのは自分に自信がなかったからだと思う。稲盛さんの話は真理で素晴らしい」
 - ・ 「男が相手の男に嫉妬することもあり、また仕事上での嫉妬もある。他方で嫉妬される場合もある。いろいろなことを考えられて有意義だった」
 - ・ 「横田南嶺師が Yu-tube 般若心経の中で『車が渋滞しても、好きな女性と一緒になら苦でなく却って嬉しいように、すべては心の持ちようである』と説かれているのと通じる」
- 等の意見をいただきました。ありがとうございます。皆で学ぶと議論が深まります。

■ 学ぶは愉し！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。参加費は無料です。